

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年8月4日

上場会社名 サンコーテクノ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3435 URL https://sanko-techno.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洞下 英人  
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部長 (氏名) 安田 伸一 (TEL) 04-7178-6530  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,307	4.6	353	12.3	334	4.0	248	11.5
2022年3月期第1四半期	4,117	△0.0	314	1.1	321	1.9	222	4.3

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 352百万円(30.6%) 2022年3月期第1四半期 270百万円(163.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	31.55	31.22
2022年3月期第1四半期	28.33	28.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	19,483	14,642	73.6
2022年3月期	19,283	14,510	73.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 14,339百万円 2022年3月期 14,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	28.00	28.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期(予想)	-	0.00	-	29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,100	7.3	710	△5.4	690	△7.8	480	△8.0	60.95
通期	19,500	4.1	1,600	△6.8	1,560	△8.1	1,050	△2.0	133.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	8,745,408株	2022年3月期	8,745,408株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	870,543株	2022年3月期	870,543株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	7,874,865株	2022年3月期1Q	7,866,365株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の新型コロナウイルス感染症拡大防止策の一環となるワクチン接種が進み、行動制限が緩和され、景気持ち直しの動きが見られる一方、ウクライナ情勢をはじめとした各国の貿易摩擦、円安や資材価格の高騰等に加え、変異株による感染拡大の懸念もあり、依然として、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する建設市場におきましては、インフラ整備を中心とした一定水準の需要に支えられ、徐々に安定化傾向が見られるものの、感染症拡大防止策に伴う経済活動の停滞長期化、設備投資抑制の影響に加え、鋼材価格の上昇が続いており、動向に注視が必要な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、2022年3月期よりスタートした「S.T.G Vision2023」“私たちは、独自の技術とサービスに磨きをかけ、安全・安心の価値を追究して、社会に役立つ集団となります”（最終年度2024年3月期）のもと、「人財育成」、「全体最適化」、「新事業創出」をはじめとした経営課題への取り組みを通じて、企業価値の向上に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,307百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益353百万円（同12.3%増）、経常利益334百万円（同4.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益248百万円（同11.5%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ①ファスニング事業

当社の主力製品であるあと施工アンカーの販売は減少した一方で、完成工事高は好調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は3,316百万円（前年同期比9.2%増）、セグメント利益は432百万円（同13.9%増）となりました。

#### ②機能材事業

電動油圧工具関連の販売は、国内においては前年を若干下回る水準で推移いたしました。海外販売が回復したことで前年を上回りました。また、電子基板関連及びアルコール検知器関連の販売が増加した一方、FRPシート関連並びに包装・物流機器関連の販売は前年を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は991百万円（同8.5%減）、セグメント利益は133百万円（同4.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は11,960百万円となり、前連結会計年度末に比べ155百万円（1.3%）増加いたしました。増加の主な要因は、現金及び預金、棚卸資産が増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことによるものであります。固定資産は7,522百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円（0.6%）増加いたしました。これは主に建物及び構築物が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は19,483百万円となり、前連結会計年度末に比べ199百万円（1.0%）増加いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,790百万円となり、前連結会計年度末に比べ244百万円（8.1%）減少いたしました。減少の主な要因は買掛金、未払法人税等が減少した一方、賞与引当金が増加したことによるものであります。固定負債は2,049百万円となり、前連結会計年度末に比べ312百万円（18.0%）増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,840百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円（1.4%）増加いたしました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は14,642百万円となり、前連結会計年度末に比べ、132百万円（0.9%）増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日公表の業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,428,163	2,754,783
受取手形、売掛金及び契約資産	4,625,723	3,953,488
棚卸資産	4,549,050	4,980,507
その他	205,173	275,410
貸倒引当金	△3,045	△3,421
流動資産合計	11,805,065	11,960,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,521,494	1,722,986
土地	3,863,883	3,873,532
その他(純額)	862,803	698,687
有形固定資産合計	6,248,182	6,295,206
無形固定資産	168,894	163,963
投資その他の資産	1,061,254	1,063,303
固定資産合計	7,478,330	7,522,473
資産合計	19,283,396	19,483,242
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,603,521	1,498,384
短期借入金	130,188	130,000
1年内返済予定の長期借入金	166,404	206,400
未払法人税等	311,528	96,691
賞与引当金	122,688	243,355
その他	701,554	616,113
流動負債合計	3,035,884	2,790,944
固定負債		
長期借入金	379,041	690,811
役員退職慰労引当金	19,700	20,446
退職給付に係る負債	1,116,583	1,122,943
その他	222,080	215,781
固定負債合計	1,737,404	2,049,981
負債合計	4,773,289	4,840,926
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	587,647	587,647
利益剰余金	13,123,223	13,151,204
自己株式	△516,568	△516,568
株主資本合計	13,962,893	13,990,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,398	12,189
為替換算調整勘定	237,499	336,237
その他の包括利益累計額合計	260,898	348,426
新株予約権	57,538	57,538
非支配株主持分	228,777	245,476
純資産合計	14,510,106	14,642,316
負債純資産合計	19,283,396	19,483,242

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	4,117,945	4,307,012
売上原価	2,864,431	2,963,171
売上総利益	1,253,514	1,343,841
販売費及び一般管理費	938,800	990,398
営業利益	314,714	353,442
営業外収益		
受取利息	685	587
受取配当金	1,102	2,307
仕入割引	6,704	6,551
為替差益	17,406	-
持分法による投資利益	412	62
その他	11,848	12,562
営業外収益合計	38,159	22,071
営業外費用		
支払利息	1,012	1,035
売上割引	26,310	26,010
為替差損	-	10,745
その他	4,026	3,375
営業外費用合計	31,350	41,167
経常利益	321,523	334,346
特別損失		
固定資産除却損	0	668
特別損失合計	0	668
税金等調整前四半期純利益	321,523	333,678
法人税等	97,673	84,743
四半期純利益	223,850	248,935
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,011	457
親会社株主に帰属する四半期純利益	222,839	248,477

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	223,850	248,935
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△350	△11,210
繰延ヘッジ損益	△11,979	-
為替換算調整勘定	56,102	115,118
退職給付に係る調整額	2,604	-
その他の包括利益合計	46,378	103,908
四半期包括利益	270,228	352,843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	262,688	336,005
非支配株主に係る四半期包括利益	7,540	16,837

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
一時点で移転される財及び サービス	2,709,624	1,082,544	3,792,169	-	3,792,169
一定の期間に渡り移転され る財及びサービス	325,776	-	325,776	-	325,776
顧客との契約から生じる 収益	3,035,401	1,082,544	4,117,945	-	4,117,945
外部顧客への売上高	3,035,401	1,082,544	4,117,945	-	4,117,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,387	58,472	80,860	△80,860	-
計	3,057,788	1,141,016	4,198,805	△80,860	4,117,945
セグメント利益	379,605	140,731	520,337	△205,623	314,714

(注) 1. セグメント利益の調整額△205,623千円には、セグメント間取引消去△3,453千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△202,169千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
一時点で移転される財及び サービス	2,828,242	991,011	3,819,253	-	3,819,253
一定の期間に渡り移転され る財及びサービス	487,758	-	487,758	-	487,758
顧客との契約から生じる 収益	3,316,001	991,011	4,307,012	-	4,307,012
外部顧客への売上高	3,316,001	991,011	4,307,012	-	4,307,012
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,897	78,625	106,523	△106,523	-
計	3,343,899	1,069,637	4,413,536	△106,523	4,307,012
セグメント利益	432,520	133,888	566,408	△212,965	353,442

(注) 1. セグメント利益の調整額△212,965千円には、セグメント間取引消去3,335千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△216,301千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。